

2025年度 大阪公立大学

小 論 文 問 題

(工学部 機械工学科)

解答時間 90分

注 意 事 項

1. 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
2. 問題冊子は、表紙を含めて全部で2ページである。脱落のあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙(2枚)及び下書き用紙(2枚)は別に配付する。脱落のある場合には申し出ること。
4. 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 解答に字数の制限があるときは、句読点や記号も含めて数えること。
7. 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とするときがある。
8. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
9. 解答終了後、配付された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

(空 白)

問題 (100 点)

日本機械学会誌の特集「電力供給の一端を担う原子力のさらなる発展への歩み」の以下の記事（抜粋）を読み、小問に答えよ。

日本機械学会誌 (2024 年 6 月) 20 頁-24 頁より抜粋。

問 1 (解答用紙①に解答せよ)

SMRの開発は近年、世界各国(特に米国)で活発化してきている。その理由を自ら考え、分かりやすく説明せよ。解答は600字未満とする。

問2 (解答用紙②に解答せよ)

例えば今から 20 年後の日本社会における未来のエネルギー問題を想像し、どのような手段でそれを解決すべきか、自らの考えを具体的に述べよ。さらに、自らがその解決を担う技術者になる場合、大学で何を学ばなければならないかを述べよ。解答は 600 字未満とする。